

道しるべ

No. 248

ネット社会を安全に過ごすために

インターネットの普及は目覚ましく、平成17年2月現在の日本のインターネット人口は、7千万人余で、自宅でインターネット利用をする世帯普及率は55.4%となったそうです。

この急速な普及に伴い、様々な問題が発生しています。プライバシー侵害、誹謗中傷、わいせつな内容、薬物売買や詐欺商売など。しかしこれらの問題の中には、ルールやマナーを理解していれば、未然に防ぐことが可能なものも多くあります。

普及した車社会に交通ルールがあるように、ネット社会の広まりに伴う守るべきルールは「ネチケツ」と呼ばれます。インターネットとエチケツを組み合わせた造語ですが、警視庁のホームページに「インターネット利用10か条」として分かりやすく掲載されているので紹介します。

- ①インターネット社会でも実生活と同じルールとマナーを守る
- ②他人のプライバシーを尊重する
- ③住所、氏名を記入するときには十分注意する
- ④ID・パスワードの管理を徹底する
- ⑤他人のミスを大げさに言わない
- ⑥メールを送る前によく確認する
- ⑦面と向かって言えない事は書かない
- ⑧知らない人からのメールは開かない
- ⑨困ったことがあったらすぐに相談する
- ⑩安易にダウンロードやコピーをしない

交通ルールは、小さいうちから家庭でも学校でも教えています。これはインターネット利用に際してのネチケツにも言えそうです。また、道路にガードレールがあるように、情報にも、フィルタリングソフトを入れるなど安全対策を講じる必要もありそうです。

私たちの歴史見つけた

154

石造文化財編



琵琶甲石仏

大歳神社の石造物二 (琵琶甲町)

境内の石造物には、前号で触れました石灯籠のほか、石仏、五輪塔、墓石などが残っています。

社殿前に奉献された高室石製の狛犬は、総高約140cmで台座の上に鎮座します。前肢を直立させ胸を張りますが、口を開けているものと閉じているものがあります。社殿に向か

い右側に口を開けているものが阿形、口を閉じているのが吽形と呼ばれ、阿形が雄、吽形が雌にあてるのが一般的です。阿形の台座には、昭和3年(1928)の製作年月と施主および東高室の石工名を刻んでいます。社殿に隣接する建物内には、高さ約1m、幅約45cmの板状の凝灰岩に半肉彫りの大日如来

像と思われる石仏が祀られています。像は、蓮花を刻んだ蓮華座に膝を組み膝上で定印を結ぶ座像もしくは宝珠か鉢状の物を持った座像にも見えます。頭には、方形のものが乗っていることから宝冠をあしらったと思われるが、全体に表面が摩滅しており細部まで分かりません。製作年代については不明ですが、稚拙な技法から近世を下らない時期の作と考えられます。

境内の石仏には、地藏菩薩立像のほかに観音菩薩座像、五輪塔の残欠も祀られていることから境内に仏教関連施設が存在していたことが分かります。

教育

「出会い・ふれあい」ふれあい運動会

子どもたちは、様々な人との出会いやふれあいの中で、一緒に遊ぶ楽しさや喜び、また、くやしきなど多くの体験を積み重ねていくことで、心身共に豊かに育っていきます。北条東幼稚園でも、年間を通して「様々な人たちとのかわわり」を大切に保育に取り組んでいます。毎年10月に実施している「高齢者とのふれあい運動会」もその一つです。



子どもたちは、高齢者の方のパワーに刺激を受け、力を合わせて夢中で遊んでいくうちに、すっかり仲良しになりました。運動会の後は、幼稚園のテラスで楽しくおしゃべりしながら一緒にお弁当をいただきました。

このふれあいを通して、子どもたちは高齢者の温かさや優しさにふれ、親しみの気持ちや思いやりの心を育む機会となりました。また、運動会実施に際しては、事前に詳しい打ち合わせをしました。そして、そうすることで、学園生と園児の双方が目的を持って参加することができたのではないかと思います。

今後子どもたちの健やかな成長を願って、出会いやふれあいの機会を多く持つようにしたいと考えています。

加西市立 北条東幼稚園

今年度も、10月20日(木)に実施しました。当日は30数名の高齢者大学「サルビア学園」の学園生の方が来てくださり、園児とペアになり、ラジオ体操をしたり、缶つり競争、綱引きなどのゲームを楽しみました。最初の開会式では、少々緊張気味の子どもたちでし